

「平川小学校に残る不思議な足」

2005年に、平川小学校の「グローバルクラブ」で「学校に残る不思議な物」調べをしました。いつも見慣れているもののなかに、それが何かはよく分からない、というものを調べる活動です。そして、その当時、本校の卒業生であり、第29代の校長先生でもある山根典明元校長先生に、いろいろな謎の答えについて教えていただきました。その1つが「ふしぎな足」です。

これは、体育館前にあります。土台の上に青銅製の足だけが置いてあり、とても奇妙なものです。この場所にはかつて、この学校の位置を示す指標（経度や緯度、海拔が記された物）が置かれていました。

実は、この足の持ち主は、羽根のはえた天使の像でした。現在の体育館の場所に第1校舎があったころ、その横には池がありました。この天使の像は、その池の中においてあったということです。ですから、この土台の下の方には、これがかつて水の中にあった形跡が残っています。

昭和62年撮影の校舎写真にも、この天使像が写っています。その証拠が、不思議な足の中に水管の跡として残っています。

校舎改築に伴って天使の像は現在の場所に移されましたが、天使はなぜか足を残してどこかに行ってしまったようです。



「何かの形跡を残したセメント」

これも、とても不思議なものです。山根元校長先生に尋ねると、この上にはかつて二宮金次郎の像が建ててあったということでした。

その二宮金次郎はもともとは別の場所に置かれていたようですが、山根先生が校長として赴任された時には、今のプール脇の溝のそばに半ば土に埋もれて転がっていたということです。

これを不憫に思われた山根先生がこの場所にセメントで礎石を作り、像を置いたそうです。

その後、何らかの理由でまた二宮金次郎は姿を消し、現在は礎石であったセメント部分だけが残っています。



「見つかった2つの像」

天使像と金次郎像は、第3校舎裏倉庫に保管されていました。天使像は身体の一部が欠けていましたが、2体とも保存状態は悪くありません。

暗い倉庫の中でいつか元の場所に戻る日を待っているようです。

